

V 令和6年度(2024年度) 受賞実績

※ 受賞者の所属、職名は、受賞当時のもの。

■ 令和6年度(第20回)若手農林水産研究者表彰 農林水産技術会議会長賞 (11月)

受賞者：石塚 航 (法人本部 研究推進部 研究推進グループ)

受賞内容：カラマツとトドマツの育種を加速する遺伝的変異の探索と活用

林木において早く効果的な遺伝的改良を実践するため、寒冷地域の主要林業種カラマツ類とトドマツを対象に遺伝的変異の活用技術を確立した。カラマツ有用系統の識別に資するDNAマーカーの開発、トドマツの有用系統の選出に資する地域適応性の可視化、弱例示の検定制度向上に資する空間情報を組み込んだ解析フローの確立に成功した。

■ 第12回森林遺伝育種学会賞 (11月)

受賞者：来田 和人 (森林研究本部 林業試験場 副場長)

受賞内容：グイマツF₁の育種と種苗生産技術に関する研究

検定林データの解析から炭素固定能が高い系統「グイマツ精英樹『中標津5号』×カラマツ精英樹」(クリーンラーチ)を選抜し、野鼠害や雪害抵抗性が高く、初期成長が早いことを明らかにした。また、雑種苗木を精度よく識別できる方法を開発したほか、近赤外光選別により発芽率を高めた種子を用いたカラマツ実生1年生コンテナ苗の育苗技術や、制御された環境下で1年を通してクリーンラーチ挿し木苗を生産する技術開発に取り組んだ。

■ 第3回全国林業試験研究機関協議会研究支援功労賞 (2月)

受賞者：早坂 一文 (森林研究本部 企画調整部 企画課 専門主任)

受賞内容：道総研林業試験場道南支場(函館市)と本場(美唄市)において、20年以上の長きにわたり試験林の整備や研究職員の現地調査の補助、種子鑑定等の依頼試験など、多岐にわたる研究支援業務を通じて、当場の試験研究に貢献してきたことが認められ受賞となった。

■ 令和6年度森林研究本部長表彰 (3月)

受賞者：ナラ枯れ対策研究チーム

雲野 明 (森林研究本部 林業試験場 保護種苗部 保護グループ 研究主幹)

和田 尚之 (森林研究本部 林業試験場 保護種苗部 保護グループ 研究職員)

内田 葉子 (森林研究本部 林業試験場 保護種苗部 保護グループ 研究職員)

大井 和佐 (森林研究本部 林業試験場 保護種苗部 保護グループ 研究職員)

徳田佐和子 (森林研究本部 林業試験場 道南支場 支場長)

受賞内容：令和5年度に道内で初めて被害が確認された「ナラ枯れ」に対して、被害状況の把握や害虫駆除に関する技術指導を迅速に行うなど対策の推進に尽力してきたことが認められ受賞となった。